

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2021年3月10日
作成 高齢者支援セン ター	町田1
作成者	齋藤美和子

1.開催日時	2021年2月26日	(金)	19:00	～	20:00
2.会場	zoomによるリモート				
3.主催センター	町田1	・	町田2	・	町田3
4.参加人数	101人				
5.参加者内訳	市役所	6人	ケアマネ	30人	
	病院	1人 (うち、医師 1人)	歯科医	3人	
	薬剤師	36人	人	医療関係者	6人
	センター	19人	人		人
		()			
6.開催テーマ	おくすり手帳の活用を目的としたカバーの試用報告				
7.地域課題	<p>(1) 課題設定の背景</p> <p>連携ツールの課題や更なる活用について継続的に検討を重ねた結果、おくすり手帳の活用促進・連携ツールとしての可能性に着目しオリジナルのおくすり手帳カバーを作成した。</p> <p>(2) 検討した地域課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おくすり手帳の正しい使用法の啓発が必要である。 ・専門職間の連携不足の解消。 				
8.会議の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・おくすり手帳の活用を目的としたカバーの試用の取組と効果測定についての共有。 ○おくすり手帳カバーの試用と効果測定アンケートの結果報告 受診に必要なものをまとめることで、受診時のみならず緊急搬送時や災害への備えともなる。連携ツールとして活用するには専門職種間での活用意識の高揚が必要である ○服薬支援の課題について意見交換 ○おくすり手帳の更なる活用に向けて <p>服薬支援に係る様々な課題に対して、利用者や専門機関間で情報伝達がより円滑に行えることが期待される。ICT化が進む中でも、高齢者自身が見て確認できるおくすり手帳は情報ツールとして活用が期待される。書き込むことで手帳を活用したコミュニケーションが始まるのではないかと</p>				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、利用者や家族への働きかけ、専門職種間で ①正しい使い方の普及啓発、②情報共有手段として実際に活用すること が必要。おくすり手帳を活用した連携の在り方について検討を重ねる。普及啓発のためのカバーについても取り組みを広げたい 				